

重点1 子どもたちの学びに対する意欲の向上



肯定的な回答をした児童・生徒の割合(全県)

質問 番号	質問	小学校	中学校	あなたの学校		
				4月	月	月
(53)	国語(53)、算数・数学(61)、英語(70)の勉強は好きですか。	57.8	57.6			
(61)	まずはあなたの学校の数値を入れてみましょう。	58.4	57.4			
(70)		67.0	53.3			

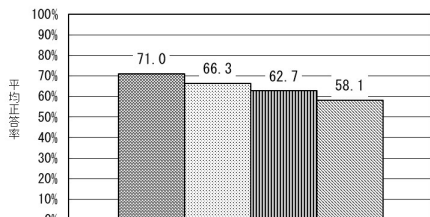
質問 番号	質問	小学校	中学校	あなたの学校		
				4月	月	月
(44)	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか。	80.2	77.3			
(54)	国語の授業の内容はよく分かりますか。	82.3	77.9			
(62)	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。	77.1	76.4			

継続的に質問調査を行い、数値を記入することで、児童・生徒の変容を見ていきましょう。

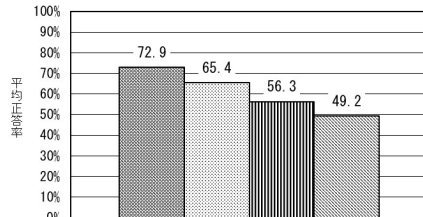
◆生徒質問調査(53)(54)と中学校国語の平均正答率とのクロス集計に着目すると・・・

■1.当てはまる ■2.どちらかといえば、当てはまる ■3.どちらかといえば、当てはまらない ■4.当てはまらない

【(53) 国語の勉強は好きですか。】



【(54) 国語の授業の内容はよく分かりますか。】



➡「教科の勉強が好き」「授業の内容がよく分かる」と回答した生徒ほど、各教科の平均正答率が高い傾向が見られます。※小学校算数、中学校数学・英語でも同様の傾向が見られました。



「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか。」では、約8割の児童・生徒が肯定的な回答をしています。
「授業がよく分かる」と回答している児童・生徒も8割近いですが、この児童・生徒の実感と実際の学習状況はどの程度結びついているのでしょうか。

「授業の内容がよく分かる」への回答と、「教科の勉強が好き」への回答には大きな差があり、課題があると考えられます。子どもたちが「教科の勉強が好き」となるような、『きっかけづくり』や『工夫・手立て』を意識した授業づくりを行っていくことが、児童・生徒の『もっと学びたい』『もっと知りたい』につながりそうですね。



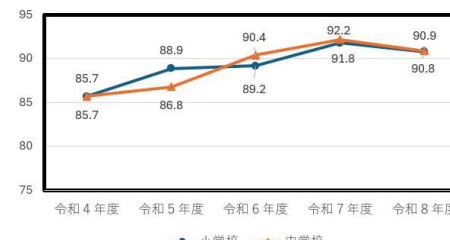
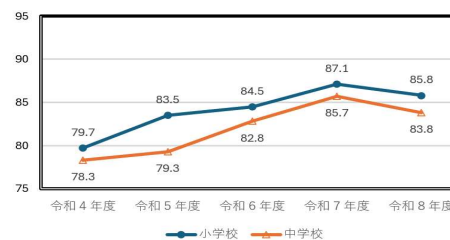
考えてみましょう!!

子どもたちの『もっと学びたい』につながる『きっかけ』『工夫・手立て』を書いてみましょう。



◆児童・生徒質問調査(8)(9)の経年変化に着目すると・・・

【(8) 自分には、よいところがあると思いますか。】 【(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。】



➡これらの項目は、数年間では増加傾向にありますが、今年度はわずかに減少しました。

学校生活の全体を通じて、児童・生徒の「よさや可能性」を見いだし、先生方で共有し、肯定的な声かけなどをしていくことも、児童・生徒の自己肯定感を高めることにつながります。

◆児童・生徒質問調査(8)(9)に着目すると・・・



多くの子どもが先生からよさを認められていると感じています。子どもたち自身が自分自身のよさを実感する機会をつくることも必要だと考えられます。皆さんの学校の子どもたち一人ひとりの「よさや可能性」は、どのようなものでしょうか。先生同士で、互いに伝え合ってみましょう。もしかしら、その子どもについて新たな気づきがあるかもしれませんよ。

伝え合ってみましょう!!



すべての子どもの「よさや可能性」を挙げて、伝え合ってみましょう。新たな気づきがありますか?



結果だけではなく、子どもが挑戦する姿や目標に向かう姿勢の過程を認め、「自分にもできる」という実感につなげましょう。子どもたちのよさをフィードバックしていきましょう。



子どもたち自身が、互いの考え方や工夫、それぞれの取組の過程に目を向けて伝え合うことで、自分では気づけなかったよさに気づくことができます。よさを認め合う経験を積み重ねることが、次の学びへの意欲や自信につながります。こうした取組を、日々の授業に取り入れてみましょう。



ここに注目!!

「できたところ」「よいところ」をみつけあい、互いに伝え合う活動事例
【開成町立開成南小学校第3学年「体育:器械運動(跳び箱運動)」】
開成南小学校では、子ども同士が互いのよさを認め合う「すてきさん」という合言葉があり、指導において一貫して使う言葉となっており、家庭や地域とも共有しています。体育の授業においては、友達の「できたこと」「よいところ」をみつけた際に両手タッチの「すてきさん」ポーズを取り入れて伝え合うことで、互いを認め合う場をつくっています。こうした活動を通して、友達のよさに気づき、認め合うことのよさを実感することにつながっています。



CHECK!!

子どもが輝く学級経営につながる学級担任の指導のポイント
(R8. 3月改訂)

学級経営は児童・生徒の学びや成長に密接に関連しています。
「児童・生徒理解」
「集団づくり」について振り返り、今後の目標につなげてみましょう。



POINT!!

先生が、子どものよさや可能性を積極的に認めるとともに、子どもたちが互いを認め合い、学び合える授業づくりや学級づくりに取り組んでいくことが重要です。